

陽気だより

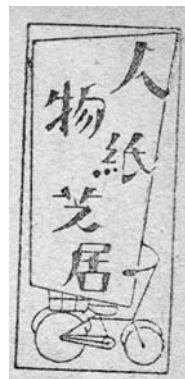
養徳社 検索

ホームページからご覧いただけます

No. 37 2010. 4. 15

第4号 (24年8月号) から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で61年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。



現在の天理教の中で増田千代の名を知っている者は案外少ないかも知れない。それほど彼女はポプユアラな存在にはなっていない。

しかし今後何年間か後には、メキメキと伸びて来るであろう女性の一人であることは間違いない。こう云うと、最近学業を終えて政界に立つたうら若き、才はじけた女性を想像するかも知れないが、才媛は才媛でも今から二十八年も前に京都府立第一高女を首席で卒業した本年四十六才になる才媛である。

彼女は、公平なる人格者として今尚その逝去を惜しまれている数代前の総務長深谷徳郎氏の末妹である。学校を卒業してから暫く、河原町大教会にあって若鮎の如く、ピチピチとしてその社会的活動性を発揮しかけていた時、彼女

の伯母にあたる現夫君増田教区課長の母堂から見込まれて所謂従兄妹みようととなったのであるが、今でも子供が無

いだけにエビ茶袴を履いても似合いそうな女学生然とした処が見られるが、それだけ女としての色気には欠けているかもしれない。

ここへ教祖を持つて来ることは不釣合いかもしれないが、



教祖の嫁入条件が朝夕浄土宗の和讃を許してもらうことになった様に、彼女の向学心は、結婚後も天理外語生たらん事を朝夕父君に要求して聊か父君を悩ましたらしい。

筆者は恋愛結婚を肯定する者であるが、増田千代夫妻を恋愛結婚だと云う者もあるが決してそうではなく、全く伯

母に惚れられてもらわれたものであり、その証拠には知らない人から彼女が家付き娘で主人は養子ですかと度々聞かれるほどだ。

彼女の社会的活動性は至る処で発揮されている。

愛知教務支庁にあれば早速名古屋市中に母の会を組織して母性の向上と子供の教養に努め、上海伝道庁にあれば上海婦人会副会長に押されて寧ろ会長の福民病院長夫人より実質的リーダー格となったほどで、彼女はその環境にに応じて、グングン時代的感覚を捕えつつ各方面に浸透して行く力は、彼女の恵まれた知性と活動性の賜である。

上海事変が発生した時、水道の断水によって居留民の水洗式便所は忽ち黄金の山を築いて困ってしまった時に、本教徒の手による「モードン」(※)奉仕によって愁眉を開いたことは有名な話であるが、夫君の陰にあってそれからそれへと手違いなく仕事を進めていった采配は彼女だったと云う。

筆者がかつて上海を訪れた時、彼女に案内せられて上海の銀座街、大馬路の壮大なキ

ヤシーイホテルの八階に在る国際的ダンスホールに行ったことがある。

豪壮な設備と、雄大な音楽と、点滅する照明の中に、各国の紳士淑女が颯爽とタンゴを踊っていた情景を呆然として眺めていた筆者の前に、つと立上った彼女から踊りませんか、と手を差し出されてびっくりして断った事があるが、その後、彼女のダンスは、筆者と同じ様に僅かに基本を習った程度だけだ、と家人から聞かされて、増田千代の勇敢極まる心臓振りに感心したものである。

中澤隼人(筆)

※「モードン」とは「馬桶」、持ち運びできる便器のこと。上海事変で回収業者が来れなくなる中、天理教人が砲弾の中をかくぐり、し尿の回収を行い、非常に感謝されたという。



信仰例話三題

(『真実の道』より)

神の把握

在る時、一青年がT氏をおとずれ、いかにすれば「神がつかめるか」とたずねた。

T氏は、これに対し、一個のコップを示し、

「あなたはこのコップはつかめますか」と問うた。青年は、「つかめます」

「ではこの家はつかめますか、又この地球はつかめますか」

「つかめません」

「大きなものは小さな人間の手にはつかめません。だがごらん下さい。このコップをつかんだらこの手はもう自由ではない。逆に言えばコップは手につかまれて手をつかんでいるのです。神をつかむ、神を知るためには、ほんとうは神につかまれる。つかまれてつかむよりほかはないのです」

青年はいたく心を動かされた。

たすかる理

或る時、四人の信者が初席の試験を受けるために、順序を追って、兵神の教会まで来

られた。明治二十五年のことである。



強されておりますが、我が身救かる理とは何でございますか」と訊ねた。

四人ともどう答えてよいか解らないので、黙っていた。

「これがわからないではこの試験をお通しするわけにはいきません」

仕方がないのでその場はそこを引き下がった。

いろいろ考えたがどうもはつきりしなかった。とうとう四日経ってしまつた。

四日目に会長の清水与之助氏が、

「あの四人はどうしているか」

と訊ねたので、右の次第を伝えると、

「それは無理である。知らないことは教えてやらない」

「わが身救かる理と申しますがあつた。」

「あなたが身救かる理と申しますがあつた。」

のは、人を悪く思わんようということでございます」

四人はいかにもなるほどよく心に沁みこんだ。

「みちのとも」昭和九年五月五日

皆んな居る中に、寄り合

うてる中に、分かんらん

論してやらにやならん。

論し合ひは兄弟という。

(おさしづ 明治31・3・28)

悟りと悩み

悟つたことを言うのが宗教家だと思つてゐる人があ

ります。自分に悩みのあることが他人に知れたら、何となく値

打ちがなくなるように思つて

いる宗教家があります。

宗教家も、ここまで干乾び

たら、もう手のつけようがありません。立派な宗教家ほど、深い悩みと、切ない寂しさを

持つべきはずであります。深い人生を味わうものには、迷いと悩みはつきものです。

岡島藤人「みちのとも」

養徳社 よもやま話

○……健康診断の結果、会社で保健師と面談をした。現在の生活習慣などを尋ねられ、保健指導を受けるようになった。週一回ビールを飲まない、車通勤のところ、週一回は電車通勤するという約束をしたのだつた。

月一回メールで様子を尋ねられる。何も返事をしないのではと先日、会社に電話がかかってきた。「体重と腹囲を毎日測っていますか」と言われるので、「何もしてないので変わりました」と答えたのだが、どうも増えているように思う……。

○……四月初旬、石上神宮の桜並木を中心に「天理さくら祭り」が行われ、誘われて日中観に行つた。多くの花見客にあちらこちらの小宴会は当然として、照明付舞台で次々と音楽や芸が披露されるのには、私が長年知らなかつただけに驚いた。そして観光協会手作りのよもぎモチが配られていたが、手に入らなかつた。来年は花見客として初めから参加してみようと思つた。

大好評!

大地を駆ける伝道者たち

北海道に血と汗と涙を流した伝道の記録

初の地域限定おたすけ実録集

支庁事務教北海道教理天
編支 403 頁並判六四
200 円(税込) 1,575 円(定価)

養徳社
天理市川原城町 388
0743)62-4503
http://yotokusha.com/

「陽気」定価改定について
本誌は平成九年以来、定価を据え置いてまいりましたが、営業努力も限界に達し、五月号より定価二百円(税込)に改定させていただきます。何卒、事情ご賢察の上、ご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。